

透析患者への支援で要望受ける

党愛知県議団

公明党愛知県議団(渡会 克明団長)はこのほど、県庁内で一般社団法人の県腎臓病協議会(奥村清高代表理事)と懇談し、透析患者への支援に関する要望を受けた【写真】。

席上、奥村氏らは、高齢化と長期の治療により歩行



が困難になる透析患者が多いことを強調。患者のために病院が運営する送迎バスは経営面の負担が大きいことも述べ「県として、相乗りタクシーなどの通院支援策を推進してほしい」と訴えた。このほか、透析患者を含む障がい者への医療費助成の継続や、大規模災害時にも透析を受けられる体制づくりを求めた。

渡会団長は「透析患者の抱える課題を再認識した。今回聞いた話を基に、県への要望を行う」と述べた。